

## 第 11 回土浦の花火フォトコンテスト

### ■ 総評

11 回目を迎えるこのコンテストですが、たくさんの方にご応募いただきまして、ありがとうございました。昨年よりも応募者総数は 49 名、出品作品数は 124 点と増え、その中で見事入賞されたみなさま、おめでとうございます。特に県外からの出品者が最北端は青森県から、最南端は大阪府まで 32 名の方々が、また年齢も 23 才から 83 才までと、日本各地からさまざまな世代の方々が、この土浦の花火大会に来ていただいていることがわかり、大変嬉しく思いました。

毎回のことですが最優秀賞から優秀賞の上位 4 点は、どれもそれぞれ素晴らしい写真で、甲乙つけ難く、審査員一同で熱のこもった選考を行いました。また入選、佳作もいずれも力作であり、今後はさらに上位を狙えるだろうという写真が多かったです。個人的には、どこから撮ったんだろう、と想像が膨らむ写真や、花火本来のダイナミックな輝き、また花火師さんが大切にしている花火の色の複雑な美しさをきちんととらえた写真が特に素晴らしかった、と感じています。

一方、あと一息というところで選外だった方もいらっしゃいます。入賞できるかどうかのポイントはプリントの仕上がりが大切になってきます。ホワイトバランスにこだわり、花火本来の美しい色合いがきちんと出るようにプリントすると、入賞のチャンスがぐっと広がると思います。また選外ではありますが、長時間露光など面白い試みをしている方もいました。型にとらわれない、さまざまな試みを楽しみにしています。

また今後は創造花火や、その他大会にまつわるさまざまなシーンを捉えた作品づくりにも積極的にチャレンジしていただけると、土浦の花火大会のアーカイブが厚くなっていきますので、ぜひお願いしたいところです。

今回のコンテストでは土浦の花火大会は、こんなに美しくて、こんなに楽しいんだよ、というような気持ちが写真からよく伝わってきて、拝見していても楽しかったです。

来年度も多くの方々のご応募を心よりお待ちしております。

審査員・写真家

松本美枝子